

梅雨時は草との戦い！

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【9号】
2021年7月1日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞ！
採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

- ## 六月の活動
1. 稲作事業
【白毛餅／コシヒカリ栽培】
・ヒエの除去作業、草刈り
 2. 薬草事業
【センブリ栽培】
・草取り
【ベニバナ栽培】
・倒れ防止と草取り
 3. 園芸事業
【ほおずき栽培】
・倒れ防止と草取り、芽かき、病害予防と防虫
【トウモロコシ栽培】
・トウモロコシの定植
甘太郎、あんみつ姫、かかさま、ゴールドラッシュ
・除草、病害予防と防虫



雨の中でセンブリ畑の草取りをする 原さん



あさげの里に共生したつばめ

- ## 【野菜栽培】
- ・大根の種まき
 - ・各種苗の定植
ミニトマト、パプリカ、ナス、レタス、キャベツ、キュウリ、サツマイモ、里芋、ゴーヤ、オクラ、ピーナッツ
 - ・ピーマン転倒防止、草取り
 - ・新玉ねぎ、ニンニクの収穫
- ## 4. 薬細工事業
- ・綱縄つくり開始
 - ・猫ちぐらの初出荷



刈った草を回収する雅信さん

新野の地域の方々には誰かが草刈りを始めると、皆が一斉に草刈りを開始し、刈った草もきれいに回収します。
この姿勢が新野の景観を保っています。



八反ドリを使いこなす 村松さん

稲作事業

＜ヒエの除去＞

コシヒカリの田の草が多くて八反ドリにて人力除草をしました。八反ドリは、柄を持って前後に押し引きしながら前進することによって水田の表土を浅くかき廻します。現在は除草剤が普及されあまり見ることが少なくなりましたが、やむにやまらず作業を行いました。

園芸事業

＜ほおずき栽培＞

ほおずきの倒れ防止にハウス解体でリユースした鉄パイプを立て、マイカ線を両側から張り茎を支えました。

野菜栽培

＜大根の種まき＞

ほおずき畑の空スペースが雨で泥んこ状態でしたが大根の畝を立てマルチを敷きました。泥でとてもマルチを抑えられないので苦肉の策で、畝サイドに支柱を押し込みピンで止めました。その後種まきをし、泥の



最後の定植を仕切る 熊谷さん

＜トウモロコシ栽培＞

「蔵」向けトウモロコシ畑の3回目の定植が完了し全畝が苗で埋まりました。この畑の植え付け本数は12,000本になります。



＜キュウリの定植＞

キュウリの支柱ネットを延長し3回目の定植を行いました。これでキュウリの定植は100本になります。収穫が忙しくなりそうです。



苗の世話をする 村澤さん

＜ミニトマト定植管理＞

ビニールハウス内にミニトマト、パプリカを定植しました。昨年は露地栽培でしたが今年はハウス栽培で苗の成長も良好です。
毎日、苗の世話に追われています。



キュウリの支柱を延長する博文さん

＜サツマイモ定植＞

急遽、「蔵」からの要望でサツマイモを定植しました。作付け場所にも限りがありメンバー所有の土地を借り、植え付けを行いました。
サツマイモはイモ干し用として加工され店舗に並びます。



＜新玉ねぎ・ニンニク収穫＞

昨年11月に種まきした玉ねぎとニンニクを収穫しました。玉ねぎは、作付け場所が北向きで日当たりが悪く小玉でしたが新玉ねぎとしておせんしょ市場に提供しました。
ニンニクは味噌漬けの加工品にチャレンジして行きます。



ガルテンのさつまいも



原田さんの農園を借用

猫ちぐら 笑つと納豆

6月25日に株式会社サンリエ下島会長夫妻があさげの里とあさげ工房を訪問されました。薬工房では工程をご覧頂き猫ちぐらをご購入頂きました。
ご夫妻は猫ちぐらの事をよくご存じで購入を楽しまれていたそうです。後日聞きした所、猫が直ぐに猫ちぐらに入ったそうです。

社内販売用に会社より補助を頂き特別価格で販売中です。子供の自由研究に如何ですか？是非この機会にご購入下さい。

社員向け価格 500円
笑つと納豆
あさげの里 産 納豆

あさげの里の栽培方法

あさげの里の栽培方法です。5節までは脇芽・雄花は摘み取ります。それより上は子づるとして伸ばします。

子づるとは葉を2枚残してその先は摘芯（カット）します

親づるは一定の高さで摘芯（カット）します。

それより上のわき芽は子づるとして伸ばす

5節までのわき芽・雌花は摘み取る

摘芯
雌花
子づる
親づる